

柏市立土小学校PTAの取り組み

土小学校は、学校に協力的な町内会や団体が多く、様々な部分で地域の支援を受けています。コミュニティスクールが進む中、学校教育が変化していく中でPTAとしても変化が必要だと感じ、色々な取り組みをしてきました。

PTAの意識改革

「卒業式に芸能人を呼んでサプライズをしたい!」「PTA活動で子供より学校生活を楽しみます。」など言い続けたら、保護者からも「実はお出汁の授業がやりたいと思ってた。」などPTA活動を楽しもうとする前向きな意見が出てきました。

PTAの効率化

- LINE Worksの活用など、学校に来なくても作業できる環境づくり
- 委員会・お手伝い当番の整理
- PTA委員会の縮小と本部役員の増員
※4つの委員会を2つにまとめ、委員の人数を削減。今年度はPTA本部希望者が多かったので増員。

お手伝い当番のボランティア化

年間1回以上のお手伝い当番が義務づけられていたものを廃止。ベルマークは子どもの委員会となりました。ボランティアとして保護者も手伝っています。ただ、削減するだけではなく「まるつけボランティア」など新たにできたものもあります。

より多くの地域の方との繋がりを深めるために「地域サークル発表会」

放課後や休日に体育館や校庭を使っている「学校施設利用団体」について、多くの保護者がどんな団体が活動しているかを知りませんでした。また、学校施設利用団体側も自分たちの活動を知ってもらいたい!という思いを持っていたので、学校施設利用団体を集めた発表会を主催しました。土小学校では、よさこい、チアダンス、パドミントン、バレーボール、少年野球、などが活動しており、演舞や活動内容など発表してもらいました。当日は、100名以上の観覧者が集まりました。そんなご縁から、運動会のソーラン節の指導に来てくれたり、土っ子おもしろ教室を開いてくれるようになりました。

土っ子おもしろ教室

土っ子おもしろ教室とは、生涯学習課の協力のもと、夏休みや短縮日課の放課後などに開催している、様々な体験ができる教室です。保護者や地域の方、地域の企業などが教室を企画し、希望する子供達を受け入れてくれています。

- ヒップホップダンス ● バスケ ● ゴルフ ● マイクラ部
- 卓球 ● 金融教育 ● マッサージ教室など

PICK UP!

マイクラ部

人気ゲーム「マイクラ」のマイクラ部は、開催するたびに、30人以上の子供達が集まります。「マイクラで土小学校の校舎を作ろう!」という目的を掲げて不定期に活動しています。まだまだ、校舎を作るまでの道は険しいながらも、マイクラを通してPCの操作に慣れ、プログラミング体験したり楽しい時間になっています。

PICK UP!

アスレティッククラブ増尾

「アスレティッククラブ増尾」は高校の体育の先生でもある保護者が、月1回 日曜日の15時から校庭で開催するクラブです。様々なスポーツを体験して、身体能力の向上を目指すクラブです。

学校を中心とした子供を支援する団体の緩やかなネットワーク 土っ子応援隊

コミュニティスクールには、地域協働本部という概念があり、土っ子応援隊はその役割を担います。土っ子応援隊はボランティア団体ではありませんが、今後も継続的に活動をするためには、収益事業が必要になります。土っ子ファンディングを行い、6年生がデザインしたロゴを載せたポロシャツを作り販売をしました。多くの保護者や地域の方が購入し、学校のイベントにはポロシャツで来てくれる方が多くいます。土っ子応援隊には、ふる協や、青少協、相談員、補導員、消防団など地域団体も積極的に参加してもらっています。地域のお祭りに参加したりもしています。このように、PTAに関わる人が増えれば増えるほど、子どもにとって良い環境を作ることができると思います。

※コミュニティスクールには、地域学校協働活動という概念があり、土っ子応援隊は地域学校協働本部の役割を担います。



柏市P連だより

第95号
2023.12.7
発行

発行：柏市PTA連絡協議会 ■編集：市P連広報委員会 ■生徒数：30,530名 ■会員数：25,223戸

〒277-0005 柏市柏五丁目8番12号 柏市中央公民館内 3F 団体事務局
電話04(7128)6753 FAX 04(7128)6754
【E-mail】kashiwa.pren@gmail.com 【HP】https://www.kashiwa-pta.com

。。。共に歩もう 笑顔をとりにどす 子ども達の明るい未来を!。。。



第45回 柏市PTAバレーボール大会

7月28日(金)・29日(土) / 8月10日(木)
柏市中央体育館



優勝 柏第五中学校PTA
柏第四小学校PTA合同



準優勝 柏第四中学校PTA
名戸ヶ谷小学校PTA合同



3位 柏中学校PTA
柏第一小学校PTA合同



3位 西原小学校PTA
十余二小学校PTA合同



四中・名戸ヶ谷小合同チーム 東葛地区予選大会 準優勝!

11/2(木)松戸運動公園体育館にて、東葛地区予選大会が行われ、柏市立柏第四中学校、柏市立名戸ヶ谷小学校合同チームが、大健闘の末、見事準優勝しました!11/30(木)に行われる、千葉県PTAバレーボール大会に出場します!



第55回 柏市PTA研究協議会開催

令和5年10月18日(水) アミュゼ柏 クリスタルホール

今年度は、「心豊かな子どもの成長を願うPTA活動～共に歩もう笑顔をとりのもどす子ども達の明るい未来を！」を研究主題に開催されました。

柏市PTA連絡協議会の鶴田和之会長の挨拶の後、来賓の皆様の中から、柏市教育委員会の田牧徹教育委員長よりご祝辞を賜り、その後「我が家の家庭教育」「青少年健全育成標語」の各入選者の授与式が執り行われました。



講演会

『ほめ言葉のシャワー』でつくる家族の絆！

講師 教育実践研究家 菊池省三先生

教育実践研究家の菊池省三先生をお迎えし、「『ほめ言葉のシャワー』でつくる家族の絆！」をテーマに講演会がひらかれました。

よくある講演会とは違い、「〇〇について、隣の方と雑談してください」と随所に雑談タイムを織り交ぜるなど、笑いの絶えない参加型の講演会でした。たまたま近くに座っただけの方と雑談をしながら講演を聞く、とても新鮮な体験でした。

今回いろいろなお話をしていただきましたが、私が特に心に響いたのが、観察するということの大切さと言葉の力でした。褒めて伸ばすことの大切さはわかっていたつもりですが、褒めるためには、まず日々の観察が大切で、よく見ていないとできない。そうした大人の姿勢が「見ているよ」というメッセージになり、子どもの心の拠り所となり、子どもの自信、頑張りにつながる。当たり前のことなのに、いかに自分がおざなりにしてきたか気づかされました。「褒めて・認めて・励ます」そういうことができる教室は、その子らしさが出てくる。自分らしさを出せるから、子ども達のキャラが立ってくる。イキイキとした教室になってくるそうです。

大人の皆さん、最近誰かに褒められましたか？最近誰かを褒めましたか？まずは、家族同士の当たり前のことでも「ありがとう」と言うことから始めてみる。「ありがとう」は最高の褒め言葉になる。今回の講演会では、自分の言動を振り返るとともに、言葉の力、本当のコミュニケーションの大切さを改めて考えさせられました。

時に実際の授業風景の映像を交えながらの先生の実体験に基づくお話は説得力がありました。ぜひ、これからも、柏市の教育活動をよりよくしていくためにお力をお貸しいただければと思います。菊池先生、ありがとうございました。



菊池省三 プロフィール

愛媛県出身。山口大学教育学部卒業。小学校教師として「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」「白い黒板」など現代の学校現場に即した独自の実践によりコミュニケーション力あふれる教育をめざしてきた。教員同士の学びの場「菊池道場」を主宰し、その支部は全国約60か所に広がり大きなうねりとなっている。文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会委員。2012年7月、NHK人気番組【プロフェッショナル 仕事の流儀】で取り上げられたことをきっかけに全国へ講演。テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」、日本テレビ「NEWS ZERO」「世界一受けたい授業」などにも出演し大きな反響を得ている。

●主な著書／「学級崩壊して直し請負人」(新潮社)、「菊池先生のことはシャワーの奇跡」(講談社)、「菊池省三流 奇跡の学級づくり」(小学館) など

日本PTA全国研究大会 〈広島大会〉

2023年8月25日(金)・26日(土)

今大会の広島大会は、テーマカラーが広島カープの赤。参加証も、大会要項も、それを入れる袋も、スタッフの着ているお揃いのTシャツも赤一色で、参加者も運営スタッフも熱気にあふれ、猛暑だけでなく、まさに燃える「熱い大会」だったと思います。全体会記念講演では「妻のトリセツ」などを執筆された脳科学者の黒川伊保子氏による『心のトリセツ～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～』と題して、脳のタイプの違いや動作の違いから子どもや家族を理解し、より良好な人間関係を築いていくためのヒントを、ユーモア交じりの小気味よい語り口調でわかりやすく楽しく学ぶことができました。



私自身、PTAの役割につくまでは、このような大会が開催されていることを知りませんでした。毎年日本全国からPTAに携わる方々が参加され、教育やPTAのありかたなどについて講義をされており、このような活動があることが日々のPTA活動の下支えとなっているのだと感じました。大会を通して子どもや家族とのコミュニケーションについて振り返る良い機会になり、大変学びの多い、有意義な時間となりました。

柏市立土中学校 会長 沖田太作

日本PTA関東ブロック研究大会ちば大会 並びに県P研究大会流山大会

2023年10月28日(土)・10月29日(日)

柏市PTA連絡協議会は、10月28日に開催された第55回日本PTA関東ブロック研究大会ちば大会第一分科会の運営を担当致しました。大会テーマは「Re:〇〇～ちば発明日につながるPTAのかたち～」。第一分科会では、Refresh～楽しもう〇〇のカたち～をテーマに講師に落語家の林家うん平師匠を迎え、「向こう三軒両隣、自分の子も、よその子もみんな地球の宝もの」を演題に講演。そして最後に人間の情についての落語を一席ご披露いただきました。各県PTAより200名を超える方々が第一分科会へお越しいただき、会場内は、うん平師匠の明るく引き込まれる声での講演、落語で笑顔に包まれ、一体感が生まれました。また提案校2校による、PTA活動の発表や子ども達の笑顔いっぱいの紹介ビデオに、制限のない日々の大切さに気づき(Remind)そしてRefreshし大人も子どももみんな笑顔になれた有意義な1日となりました。運営にあたり、ご協力頂きました皆さんに感謝申し上げます。

第一分科会運営委員長 染谷美穂



●感想●
色々な方が子ども達の為に尽力くださっていると知り、子を持つ母として、とても難しく、また素直に嬉しく思いました。講演も笑いあり、感動ありとで、共に拝聴していた娘達ととても楽しい時間を過ごさせていただきました。

令和5年度 柏市P連・千葉県P連 「青少年健全育成標語」入賞者

千葉県P連・優秀賞 柏市P連・優秀賞	「子の成長 あせらず さわがず 一歩ずつ」	柏第七小PTA	根本 智博
千葉県P連・優良賞 柏市P連・優秀賞	「見守るよ あなたの未来と 可能性」	中原小PTA	藤井 俊輔
柏市P連・最優秀賞 柏市P連・優秀賞	「なりたいな 本音で話せる 親と子」	酒井根小PTA	高橋 菜央
	「子の言葉 ひとつひとつに 思いあり」	酒井根小PTA	倉持 恵美
	「子の将来 地域みんなで 見守ろう」	酒井根小PTA	小椋 沙季
	「子の悩み 親も一緒に 考えよう」	酒井根小PTA	竹田 恵子

令和5年度 柏市P連・千葉県P連 実践記録「我が家の家庭教育」入賞者

千葉県P連・優良賞 柏市P連・優秀賞	「一人の人間として尊重することの大切さ」	柏第七小PTA	根本 智博
	「我が道を行く娘についての一考察」	柏第五小PTA	高石 哲男
柏市P連・優秀賞	「人生、出会うこと、学ぶこと」	高柳西小PTA	石井 祐司
	「子供の笑顔とともに」	酒井根東小PTA	丸山 奈美